

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川異業種グループ連絡会議 理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F
 TEL045-633-5142 FAX045-633-5194
 Email: zan25564@nifty.com <http://www.kanagawa-iguren.com>

訪問記 県立川崎図書館の新しい試み 芝 理事

昨年10月から川崎市川崎区富士見にある県立川崎図書館が、中小企業者や新規開業しようとする人達へのビジネス支援サービスを本格的に開始しています。特許相談も含めて関係機関の協力で相談員を配置し、問題解決に当たっています。また異グ連を始めとして推薦図書制度や関連情報コーナーを設けています。入館すると真先に推薦図書コーナーがあり、現在貸し出し中の本のイミテーションが飾ってあります。推薦図書の貸し出し希望が非常に高いのだそうです。推薦図書は予算の少ない中で、購入してくれます。異グ連は第1回分3冊しか推薦しておりません。引き続いて協力する必要性を感じました。

全国的にも既設図書館をビジネス図書館として活用を図ろうとする動きが数年前から起こっています。しかし案内をしていた川崎図書館の川村副館長によりますと、なかなか難しく挫折するところも多いようです。同図書館も施設が古く、一時立て替えの話もありましたが、財政難で立ち消えのようです。現在、中原区の武蔵小杉駅裏にある川崎市立中小企業・婦人会館が建て替え予定で、ここに川崎市の中央図書館機能を設ける計画があり、その一部に県の川崎図書館機能を移設する構想もあるそうです。図書館は昔から、累積する図書資料の保管倉庫の確保と管理に悩まされています。せっかく収集した資料も保管不能であれば処分するほかありません。博物館と同じく新規の資料の展示・活用とともに古い資料の保管・活用も重要です。閲覧要求がありしだい、即、供覧可能な状態にしておくことは、場合によっては博物館より困難性が高いかも知れません。

最近、資格を取得することが重視されていますが、川崎図書館の閲覧コーナーには関連書籍がズラッと並んでいました。特許関連やら色々な分野のビジネス書籍が整理され、一般の書店より、余程探し易い配列です。書店が棚にびっしりと並べているのに対して、空間もある配列なので大変探し易い状況です。

同図書館は会社の社史などを多数集めていることも知られており、産業動向を会社別に調査するのに大いに役立ちますが、私の趣味の関係では鉄道会社の、それもすでに廃止されている会社のものもあり、今後閲覧が楽しみです。これらの収集・整理・保管・展示技術に職員の情熱を感じました。私自身は、日経テレコムという新聞情報検索システムのために行ったわけですが、以前海老名の県産業技術センターで使用できたのが、最近ではサービスを中止したという回答で同図書館を尋ねたわけです。同館では日経テレコムについては、同様な機関300と日経新聞社との協定で低価格提供可能にしたため、一般へのサービスは無料でした。2日間、延べ4時間以上活用させていただき、感謝しております。検索成果は近々発表させていただきます。

図書館も社会的存在を高めるために努力をしています。我々も異グ連の存在価値を高める努力を一層やらなければという決意を迫られた、2日間でした。

論評 東アジア経済の変貌 C&S 魚崎誠也

中国を含めた東アジアの生産地図が、最近になって大きく変貌していることが分かってきた。2006年中小企業白書が発行されて2ヶ月になるので皆様もお気づきのことと思う。第2部「東アジア経済の関係深化と中小企業の経営環境変化」で詳述されているので、参照されたい。最近の新聞でも、東アジア諸国の得意分野の棲み分けが紹介されているので、実態が把握されている。インドネシアで生産された自動車のボディ部品、マレーシアで生産された変速機、中国で生産された其の他の部品がシンガポールに集められ、タイの工場に送られて自動車になるというような記事があった。マーケットは、北米、日本、東アジアそれぞれである。異グ連活動も国際化するとか、より多様化する時期に来ているので注意が必要である。

なぜ、最近このような動きが活発化したかは、色々要因があるが、東アジアでのFTA(自由貿易協定)の締結が大きいのではないと思われる。そのほかにも長年の東アジアへの進出で、どこの国が投資に有利だとか、労働力を確保しやすい、技術力が高い、賃金水準が妥当だ、等々があると思われる。

中小企業白書を読んで、筆者は「やはり、そうだったのか」という感想を持ったので、そのよって来るところを紹介して、参考としたい。古巣で、3~4年前から造船ブームがやってきた。中でも大型コンテナ船(6000個積み以上)の建造量が異常に多く、荷動きの活発化が予想されていた。当時は、まだ中国中心で、これらのコンテナ船は中国・北米、中国・ヨーロッパで使われると思っていた。実際その予測は当たった。ところが、冒頭から述べている東アジアの貿易に、それまで使われていた、大量のコンテナ船(3000個積み以下)の動きを見落としていたのである。東南アジア地区内での海上輸送の増大を海運会社は早くから予測して、より大型のコンテナ船を韓国に発注したのである。韓国だけでは間に合わず、日本にも回ってきたのである。大型コンテナ船は完成品の輸送で、東アジア・北米あるいは東アジア・ヨーロッパに投入され、今までその方面に使っていた3000個積み以下ぐらいのコンテナ船が、冒頭で紹介した東アジアの各国の間を行ったり来たりしているのである。

グローバル化は言われてからすでに久しいが、何か着々と進んでいるようである。それにつれて異グ連活動も、より国際化するとか、業種・業態入り乱れての発展に向かうのではないかと感じている。

産学官交流サロンのコーナー

第15回川崎サロン開催報告

事務局

8月31日(木)安心安全の根幹である金属疲労の測定装置では、オンリーワン企業「株マエダ」社長より金属疲労について、一般にも解りやすくお話いただきました。

第16回は10月17日(火)、第17回は1月16日(火)を予定しています。内容は決定次第ご案内いたします。

場所: かながわサイエンスパークKSP西棟7階703会議室
(川崎市高津区坂戸3-2-1、044-819-2001代)

参加費: 1,000円(ビールとおつまみ付)

連絡: 045-633-5142 芝、渡部

第17回横浜サロン開催案内

事務局

メディアを利用した地域コミュニティの活性化が盛んです。今回その実例を紹介いたします。

テーマ:「ポートサイドステーション」

桜美林大学 和田昌樹氏

“市民メディア全国交流集会”実行委員長

日時: 9月21日(木) 18:00~20:00

場所: 関内ヘリオスビル2F会議室(中区元浜町3-21-2)

参加費: 1,000円(ビールとおつまみ付)

連絡: 045-633-5142 芝、池谷、杉本

第5回西湘サロンのご案内

事務局

日時: 11月13日(月) 18:00~20:00 場所: あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル)3F会議室

テーマ:「丹沢の地酒とわが社の経営」 中澤酒造株式会社・代表取締役 鍵和田金吾氏

会費: 1,000円(ビールとおつまみ付き) 連絡、申込: 045-633-5142 異グ連事務局(芝、島津俊之、吉池)

『第4回 日時: 9月11日(月) 18:00~20:00 テーマ:「小田原とわが社の経営」スマイリンママ 福田ひろみ氏、山本加世氏』の報告は次号にてお送りいたします。

第16回よこすかサロンのご案内

八幡敬和理事

日時: 9月20日 18:00~20:00 場所: 神奈川新聞社横須賀支社5F会議室

テーマ:「三浦市地域再生計画実現のための当社」

三浦地域資源ユース株式会社・常務取締役 吉田 茂氏、総務部長 千葉 智氏
会費: 1,000円(ビールとおつまみ付き)

連絡: 八幡045-633-5142, 鶴野046-836-6785

「三浦地域資源ユース株式会社」とは、今年7月に設立されたばかりですが、認定地域再生計画実現のために設立された全国初の企業です。即ち、地域再生法に則り地域再生計画を認定された6次経済の構築による三浦スタイル展開のプロジェクトと三浦市バイオマスタウン構想の実現を目的に設立され、三浦再生の牽引力として期待されています。三浦の再生に関してアイデアや意見をお持ちの皆様のご参加をお待ちしています。

おなじみ尾上町サロン

(通称ワンコインバー)

地道に続けていますよ!

連絡は特にいりません。プラッと出てください!

日時: (毎月第一・三金曜日)

10月6日、20日

17:30~19:30

場所: 異グ連事務所

神奈川中小企業センター5F

会費: ワンコイン(500円)

問合せ: 芝、八幡、島津龍、鈴木

おしらせ! 知事と語ろう! 無料!

神奈川ふれあいミーティング

テーマ: 元気な神奈川 豊なくらし

～地域から考える神奈川の産業～

『未来を開く川崎のものづくりと地域経済の活性化』

講演: 県の産業振興策の説明 神奈川知事・松沢成文氏
事例発表 神奈川商工会議所会頭・長澤明彦氏

J Aセラサ川崎代表幹事・小泉一郎氏

会場の皆様と知事との意見交換

日時: 11月7日(火) 18:30~20:30

場所: 高津市民館大ホール 定員: 500名

申込・問合せ: 神奈川県川崎県民センター

tel 044-549-7000、インターネットホームページ

「川崎県民センター」からのお申込も可能です。

～ビジネスチャンスは新連携にあり～ 無料!

新連携創出フォーラム in かながわ

基調講演: 新連携を通じた地域活性化について

山口義行氏 立教大学経済学部教授

パネルディスカッション (含む事例紹介)

パネラー 山口義行氏 立教大学経済学部教授

竹本直文氏 スターウエイ(株)代表取締役

加藤文男氏 神奈川中小企業センターBC

箱崎慶一氏 関東経済産業局・地域経済部長

コーディネータ 柳沢 剛氏 中小企業基盤整備機構Mg

日時: 10月16日(月) 13:30~16:00

場所: 横浜エクセルホテル東急3F グランドホール

申込: (財)神奈川中小企業センター交流支援課

tel 045-633-5192、sinrenkei-forum@ksc.or.jp

助成金情報 平成19年度・内藤泰春科学技術振興財団助成金募集のお知らせ 千田 JASPA 社長提供

- 1、調査、研究開発助成金: 独創的研究開発の助成金で200万円まで、応募締め切りは本年11月10日まで
- 2、国際交流助成金: 国際研究会の開催 or 参加費用を50万円を限度、応募締め切りは本年11月10日まで
- 3、内藤泰春記念賞: 科学技術の研究開発に優れた業績を上げた企業及び技術者、研究者に対し表彰状と副賞30万円を贈呈する。応募締め切りは本年9月29日まで

候補者は原則として推薦による。 詳細は財団HP: <http://www.naito-zaidan.or.jp/index.html>

問合せ: JASPA 千田まで。千田は推薦人なので推薦を希望する場合は連絡してください。

助成金情報 (財)新技術開発財団、第78回新技術開発助成金募集のおしらせ 事務局	
1、開発技術の要件：独創的で特許等地財権を有していること、実用化を目的とした試作段階であること、一年以内に実用化が見込めること、経済効果が大きくかつ社会貢献性に富むこと、等 2、助成対象外分野：医薬品、純ソフト、ビジネスモデル、ゲーム、食品等は対象外です。 3、助成額：試作費合計の1/2以下で、1,000万円を限度とする。 4、申込期間：10月1日～10月20日 詳細は http://www.sgkz.or.jp を参照してください。	
補助金、助成金、委託金セミナー 中小企業技術革新(SBIR)制度の説明会 事務局	
内容：①公的資金活用企業の体験談、②SBIR制度の説明、③最新情報、④応募のポイント、⑤申請書事例 等 日時：第一回 H18年10月03日(火)、第二回 H18年11月14日(火) 第三回 H19年01月23日(火) いずれも13:30～16:30 場所：神奈川中小企業センタービル6F大研修室 講師：(社)日本技術士会神奈川県技術士会 他 問合せ・申込：(社)日本技術士会神奈川県技術士会 tel 045-210-0337 fax 045-210-0338 kcea@k06.itscom.net	
セミナー エコアクション21認証登録取得 吉池BC	セミナー 中小企業会計啓発普及セミナー 事務局
内容：①EA21認証登録制度と現状 ②中小企業のEA21システム構築 ③認証取得企業の体験談 日時：10月26日(木) 13:30～16:30 場所：神奈川中小企業センタービル13F第3会議室 参加費：3,000円(資料代) 募集：20名 申込：神奈川県社会経済生産性本部 tel 045-680-1863 fax 045-680-1864 ホームページ： http://www.kanagawapc.jp	内容：「中小企業の会計」の意義と必要性を再確認し、経営上の悩み、お金と価値の流れ及び新会社法関連の人材投資促進税制等を学ぶ。 日時：第一回11月08日、第二回11月16日 場所：神奈川中小企業センタービル13F第3会議室 参加費：無料 募集：各回とも35名 申込：神奈川県異業種グループ連絡会議 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 芝 忠、島津龍男、小林巽

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

日韓ビジネス協議会 高橋導徳BC 第67回・日韓ビジネス協議会は8月24日(火)に日本シャフト(株)の工場見学および暑気払会を15名で行いました。 <日本シャフト株式会社・横浜工場>会社概要 設立：1959年2月 資本金：3億9千万円 社員数：173名 所在地：横浜工場(横浜市金沢区)、駒ヶ根工場(長野県駒ヶ根市) 業務内容：ゴルフシャフト、金属バット等各種運動具用シャフト製造、販売。ゴルフシャフト75%、金属バット20%、その他5%。 9月は27日から30日まで韓国での「国際異業種交流シンポジウム・神奈川県一京畿道 異業種交流会・工場見学などの視察旅行」に出掛けるため休会にします。 次回は10月26日(木)を予定しています。関心ある企業の参加を歓迎致します。 参加時には必ず事務局の高橋まで連絡して下さい。 TEL：945-311-0094 MAIL： mtakahas@tb3.so-net.ne.jp	シフト21 有村BC 「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループです。原則第二火曜日に定例会を開催しています。 9月定例会(9月12日)は会員の榊キッズウェイ社甲斐史也氏に「益々拡大するインターネットデータセンターの現状と将来」と題してデータセンターの市場動向やビジネスモデルについてお話をいただきました。10月定例会(10月10日)は(有)アンデス商事山下巖氏に「南米チリと私(仮)」でお話いただきます。長らく南米に駐在され、南米とのビジネスを始した経緯や今後の展開などをお聞きします。皆様の参加を歓迎しております、お問合せは有村へ(hda00467@nifty.com)。
まんてんプロジェクト最近の話題 千田BC	
(1) 今年度の助成金に採用された EDIプロジェクト のキックオフを行った。まず、(財)無人宇宙実験システム研究開発機構(USEF)の宇宙CALS(宇宙システムの生産・調達・運用支援統合情報システム)のヒアリングを行った。 (2) 早稲田大学の産学連携組織である早稲田大学理工学部総合研究センターと協同して全国の中小企業、JAXA、大学などが宇宙関連、航空機関連の研究開発を連携して実施できる仕組みづくりについて検討を開始した。仕組みができれば、全国に呼びかける予定である (3) (財)中小企業異業種交流財団が開催する中小企業総合展(11/29～12/1 東京、2007/2/21～2/23 大阪)にたいし、異業種交流枠で出展を申し込んだ。また、(財)にいがた産業創造機構が長岡市制100周年・合併記念協賛事業として実施する「にいがた産学技術交流フェア2006」(10/4 長岡市)にも出展を申し込んだ。 (4) 長野県諏訪地域でも地域活性化として航空宇宙のグループの結成が進んでおり、すでに、20社ほどが参加している。このグループとの連携、グループのまんてんへの参加などについて協議を行った。	

ベトナムビジネス懇談会9月例会

池谷BC

近年、海外長期滞在者が多くなり、定年後の生活環境について東南アジアが見直されています。新しい身近な国としてベトナムが注目されています。ベトナムへの進出、不動産、証券市場への投資にも関心が広がっています。神奈川ベトナムビジネス懇談会とベトナムビジネス研究会ではベトナムの不動産の状況を聞き、ロングステイについても考えて見たいと思います。関心のある方のご参加をお待ちしております。

テーマ：「ベトナムの不動産事情とロングステイ環境」

日時：**9月26日(火曜日) 午後6時30分より** 場所：神奈川県民センター 301号会議室

講師：NGUYEN TUNG LAN 氏 (ベトナム都市開発研究者・東京大学博士課程終了)

会費：2,000円 講演終了後別会場にて、情報交換懇親会を行います。(別途会費 3,000円)

問合・申込：ベトナム懇話会事務局へ045-434-0230 FAX：.045-434-0330 Email：kojima@d-2.co.jp

関係者の皆様に、大変ご心配をかけています！

ノンアルコールで交流－私の病気－

芝 忠

先般から横浜市大病院へ検査に通っています。その結果「一生、酒を飲むな」と通告されました。以来、ノンアルコールで懇親を続けて1ヶ月になります。

経過を報告しますと、2年前の定期健康診断で「胃の精密検査」を指示されましたが、多忙で行けませんでした。丁度その頃から腹部の痛みを感じるようになり、気にはなっていました。ようやく異グ連の態勢も落ちついてきたので、検査機関へ行き胃カメラの検査をしたところ、「胃が外から圧迫されている」という結果が出ました。これは大変だと思い、転居先が一番近い横浜市大病院(福浦)で精密検査を受けることにしました。

実は、腹部の痛みとは別に、数年前から舌がもつれる現象があり、講演などのとき、自分でも気が付いていましたので、ついでに検査をしました。約3ヶ月に及ぶ検査では胃カメラ、大腸検査、腹部のCT検査、脳のMRIと行いました。その結果、腹部の検査では圧迫要因がなく異常ないが、憩室が他人より多い。病気ではないが便が憩室に滞留すると痛みが発生することがあり、憩室炎という場合もあるが、発熱するので現在は異常とは言えない。(憩室(けいしつ)とは胃や腸の一部が外へ膨らみ、空室が出来る現象。ポリープが内側に出っ張るのとは反対に外側へ出来る。これ事態は病気ではない。)私は以前、胃と十二指腸との間に憩室があり、バリウムが入ってレントゲンに写り発見された経験がある。冗談にそこが酒蔵となり、他人より酒が多く飲めるんだ、などと言っていました。腹部の痛みの原因は不明で、腫瘍やガンも無く、肝臓・膵臓・腎臓も平常?という診断。気になるならと、整腸剤を投与することとなりましたが、効果が無ければ飲まなくても良い、という対象療法で40日間程飲みましたが現在は中止しています。それ以外は特に治療方法はないという状況です。

一方、脳検査では「小脳が小さく、中心の穴が普通より大きい」という指摘で、医者はそれ以上の詳しい説明はせず、酒をどのくらい飲むのかをしつこく聞き、一時中止していたけど(検査のため1ヶ月ほど禁酒にしていた)、効果がないので飲んでいてと答えたら、「飲むな」という。「半年ですか、1年ですか?」と聞いたら「一生」だという。そこで帰宅後、インターネットで調べると、「アルコール性小脳変性症」あるいは「萎縮症」というのがありました。普通アルコールを分解するために水分が必要ですが、過度の飲酒の場合、肝臓だけでは足りなくて、脳までアルコールが回って脳細胞の水分を奪って、破壊するということが判明。それで小脳が小さくなるのです。小脳は運動神経を司るため、話す能力が落ちたり、歩行困難になったり、パーキンソン病(慢性進行性の神経病で、手足のふるえ、筋肉の硬直、平衡障害を起こす難病)にかかる場合がある、ということです。これは大変だと思って、酒を止めることにしました。1ヶ月経過しますが、まだ改善したというようにはなりません。治療方法としてはビタミン剤を投与され、「現状維持」もしくは多少の「改善」という程度です。

現在、宴会ではウーロン茶や梅干しのお湯わり、などでお付き合いしています。6年程前に肝臓で急性入院して治療を行いました。当時は酒より過労が原因だったので、入院直後から体力が急回復して2週間で退院しました。念のため3ヶ月は禁酒にしましたが、そのときも同じような生活を送りました。今回は長引く(一生?)みたいですが、皆様との交流懇親は引き続き継続するため、素面でもカラオケを歌えるようにしたいと思っています。

編集室 秋はセミナー、フォーラムの花盛り、全部紹介することは出来ませんでした。

暮れから正月の最盛期を迎える補助金・助成金もそろそろ今から準備をしたいものです。

秋は紅葉の季節!

紅葉は、春の花よりも更に趣あり 若きより老いて後、人は円熟する。 晩成すべし。

西国第二十九番青葉山、松尾寺の教えより

ご投稿を歓迎いたします。かながわ異グ連事務局 tel、045-633-5142 fax、045-633-5194 芝、八幡、島津(龍)、杉本

(会報編集担当) mail onogawa@hkg.odn.ne.jp 小野川、相楽